

新聞圖會

第十九

以前猿若町まで藝妓として居る福松の六海軍

聖天町の常三郎と云者の娘とて去年の三月常陸の国玉浦の
中城町の須田屋庄助とて出稼し行りがとろく年々せが悪く是
まで客の物と盗し事有ら去年六月二十二日に同所のおま
おきらおとりかど一途は加藤と云水揚げ多きとき客も四人へ
三田祝義と云れと一人り一命の祝義と云偽り三人へ
七五交び渡し跡へまゆり又其後去年十二月二十六日に
行中金助と云家へ招きしとき金助の紙入をあけて金六円

盗と出し其外小つると云者の象牙の篋月と盗中と立派な
盗人ありしが終はあつた此度六十日の懲役ありけしが外面女
菩薩の内如夜又と云と通り美しい顔して居る阿嬢さんでも
いのらうへ鬼もりもれさうし中とゆらんへるぬと讀賣新聞
紙上有り拜

笹木ひ芳籠画

藝妓福松

八尾善板

